

プログラム概要（現地参加コース・WEB コース共通）

<初級コース>

9/16 , 9/17 現地参加のハンズオンはどちらか1日のみで、もう1日はweb 視聴

9:00-10:30

■ 上肢 NCS（ハンズオン）

正中神経神経，尺骨神経などの common な上肢 NCS を自信をもって実施できるようにする。

10:50-12:20

■ 下肢 NCS（ハンズオン）

脛骨神経，腓骨神経，腓腹神経などの common な下肢 NCS を自信をもって実施できるようにする。

13:30-15:00

■ 針筋電図（ハンズオン）

基本的な上下肢の筋に対し適切に針を刺入し，安静時，随意収縮時の評価を実施できるようにする。

15:20-16:20

■ 反復刺激試験（ハンズオン）

小指外転筋，僧帽筋，鼻筋からの反復刺激を実施できるようにする。

<中級コース>

2日間の参加

9/16 (1日目)

9:00-10:30

■ 下肢 Uncommon NCS（ハンズオン）

伏在神経，浅腓骨神経，足底神経などの uncommon な下肢 NCS を自信をもって実施できるようにする。

10:50-12:20

■ 上肢 Uncommon NCS（ハンズオン）

外側前腕皮神経，内側前腕皮神経などの uncommon な上肢 NCS を自信をもって実施できるようにする。

13:30-15:00

■ 針筋電図（ハンズオン）

被検筋ごとのピットフォールや特徴，動員パターンの評価を学ぶ。

9/17

9:00-10:30

■ SEP (ハンズオン)

機械設定, モンタージュ, きれいな波形の取り方の工夫など実際の測定の仕方を学ぶ.

10:50-12:20

■ 神経筋超音波 (ハンズオン)

主な末梢神経・筋を超音波で同定するポイントと代表的疾患の特徴的な異常所見について学ぶ.

13:30-15:00

■ (中級・発展コース共通 ①) 1つを選択

絞扼性神経障害, 横隔神経・横隔膜・呼吸筋, MUNE, 小径神経線維機能評価 (ハンズオン)

ミオパチー (ラウンドテーブル)

15:20-16:20

■ (中級・発展コース共通 ②) 1つを選択 (※発展コースと共通)

MEP, Stimulating SFEMG, 近位筋針筋電図, 神経筋超音波 (ハンズオン)

Meet The Giant (シニア講師への質問・交流(園生・今井)), MEの基礎 (ハンズオン)

<発展コース>

2日間の参加

9/16

9:00-10:30

■ 神経筋超音波 (ハンズオン)

主な末梢神経・筋を超音波で同定するポイントと代表的疾患の特徴的な異常所見について学ぶ.

■ 横隔神経・横隔膜・呼吸筋 (ハンズオン)

横隔神経伝導検査や横隔膜針筋電図検査のピットフォールや結果の解釈について学ぶ.

■ Voluntary SFEMG (ハンズオン)

随意収縮を用いた同芯針電極による単一線維針筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ.

10:50-12:20

■ CTS・CuTS (ハンズオン)

手根管症候群などの絞扼性神経障害の臨床像と電気生理検査の選択及び解釈につき学ぶ.

- 絞扼性神経障害/エコー（ハンズオン）
手根管症候群，肘部管症候群の臨床像を踏まえた上で診断法としての神経伝導検査と超音波所見について学ぶ。
- 未定（ラウンドテーブル）

13:30-15:00

- 小径線維機能評価（ハンズオン）
主に痛みに関連する小径線維の評価法を学ぶ。-最小痛覚閾値法と皮膚生検について-
- MUNE（ハンズオン）
電気生理学的手法を用いて運動単位数の減少を捉え疾患の病態を理解する方法を学ぶ。
- 顔面神経（ラウンドテーブル）
動画で顔面神経の検査方法を供覧し，検査結果と解釈，リハビリテーションアプローチなど実際の患者の診かたについて学ぶ。

9/17

9:00-10:30

- Stimulating SFEMG（ハンズオン）
電気刺激を用いた同芯針電極による単一線維針筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ。
- MEP（ハンズオン）
磁気刺激を用いた中枢伝導検査の手法や解釈について学ぶ。
- EDx approach case study（ラウンドテーブル）
講師がそれぞれ経験した症例を元に，検査の計画，解釈から治療へのプロセスを追体験して，神経筋電気診断の考え方を習得する。

10:50-12:30

- 神経筋超音波（ハンズオン）
主な末梢神経・筋を超音波で同定するポイントと代表的疾患の特徴的な異常所見について学ぶ。
- 近位筋針筋電図（ハンズオン）
肩甲帯や傍脊柱筋など体幹に近い筋の手技と臨床的意義を理解する。
- Voluntary SFEMG（ハンズオン）
随意収縮を用いた同芯針電極による単一線維針筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ。

13:30-15:00

- （中級・発展コース共通 ①）1つを選択
絞扼性神経障害，横隔神経・横隔膜・呼吸筋，MUNE，小径神経線維機能評価（ハンズオン）
ミオパチー（ラウンドテーブル）

15:20-16:20

- (中級・発展コース共通 ②) 1つを選択 (※発展コースと共通)
MEP, Stimulating SFEMG, 近位筋針筋電図, 神経筋超音波 (ハンズオン)
Meet The Giant (シニア講師への質問・交流(園生・今井)), ME の基礎 (ハンズオン)

<WEB コース>

動画配信(オンデマンド)

ハンズオン・ラウンドテーブル

- 上肢 Uncommon NCS
外側前腕皮神経, 内側前腕皮神経などの uncommon な上肢 NCS を自信をもって実施できるようにする.
- Stimulating SFEMG
電気刺激を用いた同芯針電極による単一線維針筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ.
- 胸郭出口症候群
胸郭出口症候群 (TOS) の概念は現在大きく揺れている. 真の神経性 TOS をはじめとして, その周辺疾患の診断と治療について学ぶ.
- EDx approach case study
講師がそれぞれ経験した症例を元に, 検査の計画, 解釈から治療へのプロセスを追体験して, 神経筋電気診断の考え方を習得する.
- Voluntary SFEMG
随意収縮を用いた同芯針電極による単一線維針筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ.
- 下肢 Uncommon NCS
伏在神経, 浅腓骨神経, 足底神経などの uncommon な下肢 NCS を自信をもって実施できるようにする.
- CTS
手根管症候群などの絞扼性神経障害の臨床像と電気生理検査の選択及び解釈につき学ぶ.
- 針筋電図
被検筋ごとのピットフォールや特徴, 動員パターンの評価を学ぶ.
- 絞扼性神経障害/エコー
手根管症候群, 肘部管症候群の臨床像を踏まえた上で診断法としての神経伝導検査と

超音波所見について学ぶ.

- 神経筋接合部疾患
神経筋接合部の生理学と病態について学び, 検査の基本原理を理解する.
- 近位筋針筋電図
肩甲帯や傍脊柱筋など体幹に近い筋の手技と臨床的意義を理解する.
- SEP
機械設定, モンタージュ, きれいな波形の取り方の工夫など実際の測定の仕方を学ぶ.
- 横隔神経
横隔神経伝導検査や横隔膜針筋電図検査のピットフォールや結果の解釈について学ぶ.
- 小径線維機能評価
主に痛みに関連する小径線維の評価法を学ぶ. -最小痛覚閾値法と皮膚生検について-
- 神経筋超音波
主な末梢神経・筋を超音波で同定するポイントと代表的疾患の特徴的な異常所見について学ぶ.
- MUNE
電気生理学的手法を用いて運動単位数の減少を捉え疾患の病態を理解する方法を学ぶ.

○動画配信(ライブ) ※現地会場から配信

9/16

10:50-12:20

ライブ A 神経叢障害を考慮するときの電気診断手順

13:30-15:00

ライブ B ALS を考慮するときの電気診断手順

9/17

10:50-12:20

ライブ C 下垂足を考慮するときの電気診断手順

<現地参加中級コース・発展コース, WEB コース共通>

9/16

15:20-16:20

- 木村淳先生(故人)特別講義(録画放映:シニア講師のライブ解説付き)
神経伝導検査を行うための考え方・ポイントについてデモを通じて解説する.

プログラム概要（ウェブコース・ハンズオンコース共通，オンラインライブコンテンツ）

■ パネルディスカッション(Q&A セッション)【神経筋診断セミナー講師陣】

現地参加受講者または各動画コンテンツに関する受講者のみなさまからの質問を元に、質問事項に関連した講師陣が Zoom ウェビナー上でディスカッション，回答を行います。

実施予定日時と，回答する対象の動画コンテンツは下記の通りです：

①9/16 12:30-， ②9/16 16:30- ③9/17 12:30-が対象です